

区分：報告

掲載日：2021年3月31日

内容：2020年度外国につながる子どもの学習支援ボランティア研修会を開催しました。

## 開催報告

### 2020年度外国につながる子どもの学習支援ボランティア研修会 ～今だからこそ！子どもによりそう支援のために～

#### <概要>

##### ●目標：

- ・ 学習支援教室のボランティア活動を振り返り、子どもによりそって支援するための工夫やアイデアを共有する。
- ・ 子どもにとってより良い環境を作るための具体的な実践事例や多様な支援者・支援機関等々の連携事例から学ぶ。特にコロナ禍でこれまで通りの対面の支援が難しい今だからこそその活動について共有する。
- ・ 支援者同士のつながり作り。

●日時：2021年1月21日、28日、2月4日（木）10:00-12:00 全3回

●場所：オンライン開催（Zoom使用）

●対象：横浜市内及びその近郊で外国につながる子どもの学習支援をしている方

##### ●講師他：

第1回：講師：山根絵美さん（公益財団法人とよなか国際交流協会）

第2回：コーディネーター：YOKE 唐木澤みどり

活動紹介：シーシー ブラサングさん（NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク  
学習支援ボランティア）

石井未奈子さん（横浜市学校カウンセラー）

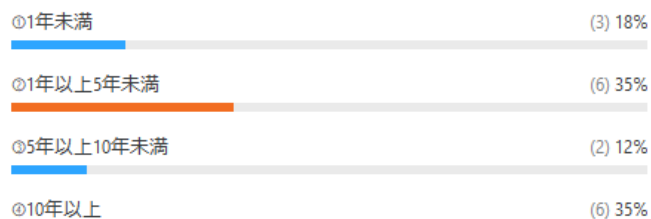
コメンテーター：劉丹さん（横浜市教育委員会事務局小中学校企画課）

第3回：講師：武一美さん

（多文化共生教育ネットワーク副理事長、文部科学省外国人児童生徒教育アドバイザー）

●参加者：第1回 23名、第2回 25名、第3回 23名（延べ71名）

#### 1. みなさんご自身のこと - 活動歴は？



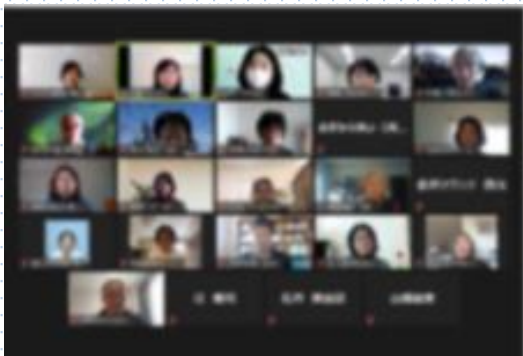
第1回の受講者への投票から～活動開始1年未満の方から10年以上の方まで、様々な方が研修会に参加されました。対面開催を予定していた第2回も含め全てオンライン開催となりましたが、活発なディスカッション、質疑応答が行われました。

## 第1回研修会 「他地域の活動から学ぶ～居場所としての学習支援～」

山根絵美さん（公益財団法人とよなか国際交流協会）

今年度はオンライン開催のメリットを生かし、対面開催ではなかなか来ていただくことが難しい大阪府豊中市から、（公財）とよなか国際交流協会の山根絵美さんに講師をお願いしました。豊中市で取り組まれている、外国人のライフステージに沿った多様な支援活動を紹介していただきました。

### \*講師のお話

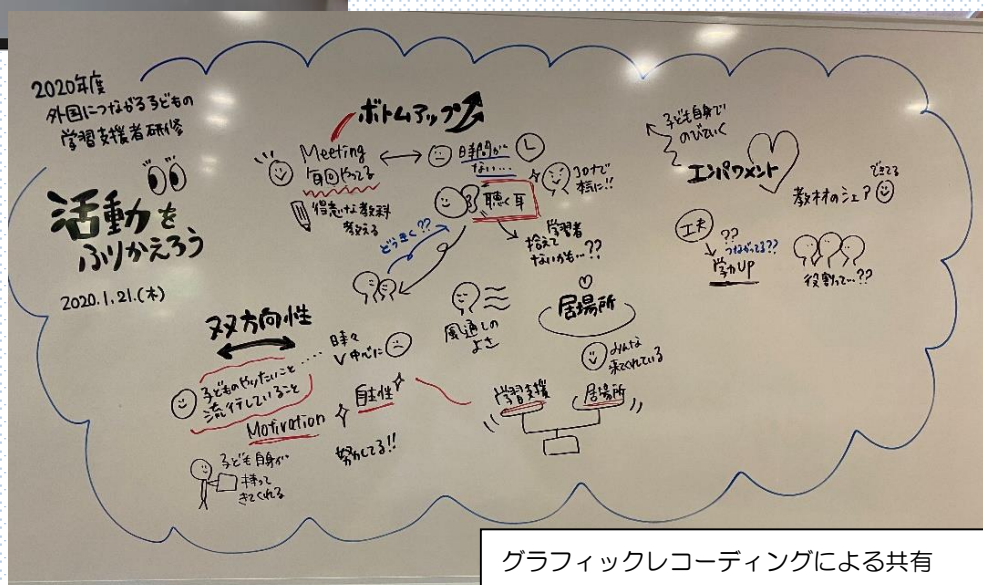


横浜市と同様、この5年で外国人人口が約3割増加している豊中市において、とよなか国際交流協会では、「居場所」「エンパワメント」「ボトムアップの組織作り」という3つの視点から活動を展開しています。コロナ禍でもお互いがつながり続けることを大切に活動を続けてきたそうです。受講者から、「スタッフやボランティアの関わり方を知ることができ、参考になった」等の声をいただきました。

### \*グループワーク



後半は、Zoomのブレイクアウトルームを使った小グループで、①双方向性、②ボトムアップ、③居場所、④エンパワメントの4つの観点から各自の活動を振り返り、気づいたこと、できそうなことを話し合いました。全体共有は、講師によるグラフィックレコーディングで行いました。



グラフィックレコーディングによる共有

## 第2回研修会 「みんなどうしてる? ~よりそう支援のヒントを共有しよう~」

コーディネーター：唐木澤みどり（YOKE）

この回は対面実施を予定していたものの、1月の緊急事態宣言によりオンライン開催になりました。距離を超えるというオンラインの良さを生かし、横浜市外の学習支援教室に活動紹介をしていただきました。その他に横浜市学校カウンセラーからの話、市教育委員会からの情報提供がありました。質疑応答を行い、参加者で共有しました。後半のグループ活動では、今年度工夫したこと、お勧めしたいことを話し合い、全体で共有しました。

### \*横浜市外の学習支援教室の活動紹介：

1. 小さな森の学校（YOKE 事前ヒアリングから紹介）
2. ジーシー プラサングさん、唐木澤  
（豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 池袋 WAKUWAKU 勉強会）

### \*横浜市学校カウンセラーの仕事と寄り添うためのヒント

石井未奈子さん（横浜市学校カウンセラー）

### \*横浜市公立小中学校におけるコロナ対策と日本語指導関連の情報について：

劉 丹さん（横浜市教育委員会事務局小中学校企画課外国語指導主事助手）



活動紹介では、中学生から学習支援教室に通い始め、今は支援者となった大学生のプラサングさんが登場。自分が学習者だったときに、学習支援だけでなく、遊び相手、相談相手としてよりそってくれた支援者への感謝の気持ちが語られました。学校カウンセラーの石井さんからは、学校で子どもを支えるキーパーソン存在の大切さや、傾聴の具体的な方法等、よりそうヒントをたくさん紹介していただきました。教育委員会の劉さんからは、学校のコロナ対策や今年度始まった支援について説明がありました。

### \*グループ活動と全体共有

「今年度工夫したこと！お勧めしたいこと！」



後半は、グループディスカッションとして、参加者の皆さんがお互いに「今年度工夫したこと」「お勧めしたいこと」を共有する時間としました。YOKEHPの「みんなどうしてる?外国につながる子供の学習支援教室 活動ヒント集」も紹介しました。

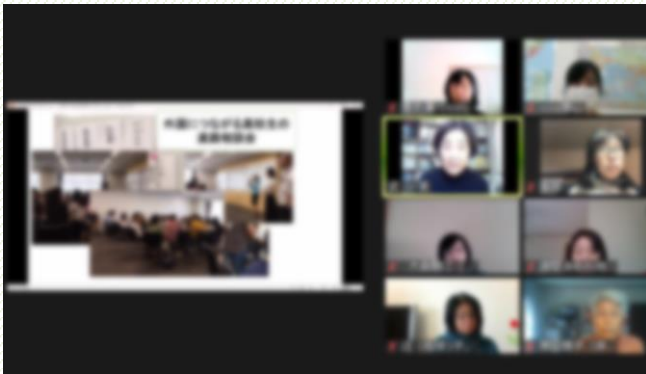
#### <全体共有>

- \*子どもとの連絡を絶やさないための工夫
- \*オンラインを利用するための工夫
- \*オンライン支援のための工夫

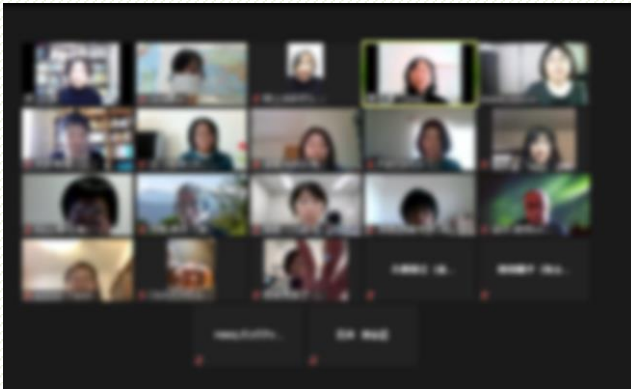
### 第3回研修会 「子どもの将来を見通す支援のために～中高校生への支援から～」

講師：武一美さん（多文化共生教育ネットワークかながわ副理事長）

今年度最後となる第3回は、多文化共生教育ネットワークかながわ（ME-net）の武一美さんを講師としてお迎えし、中高校生への支援の状況や支援のために大切なこととお話いただきました。神奈川県における中高校生支援の現状を知ることでもでき、子どもの「今」だけでなく「将来」を見通す支援を考えるために必要な視点をたくさんいただきました。



外国につながる中高校生の多様化・複雑化の状況、複数の言語・文化環境の中でのゆっくりと結ばれる多様な学びと支援の必要性、彼らを支援するME-netの他団体との連携も含めた具体的な活動等、長期的な視野を持って支援するためのヒントをいただきました。



後半のグループディスカッションは、(1)母語について、(2)今後の活動（オンライン、対面）について、話し合い、全体で共有しました。

母語は大事だがナイーブな問題でもあり、年齢等配慮も必要だということ、オンラインは始まったばかりで可能性はあるが、使い方、教材、指導方法など課題もあり、共有できるネットワークが望まれることなど、今後につながる意見が出されました。

#### ＊＊参加者の声（各回のアンケートより一部抜粋）＊＊

- とよなか国際交流協会の取り組みについてのお話から「居場所」、「切れ目ない」サポートの意味や内容を改めて考える機会になりました。
- わたしたちの活動(学習支援)の在り方やボランティアの支え方改めて考えることができました。
- 立場の異なる形で活動されている方の話が有意義でした。つい、自分のやっている狭い範囲で堂々巡りしがちですが、幅広い視野を与えていただけます。今回は、ネパールの学生さん、そして心理カウンセラーの先生のお話で今後の活動のヒントを見出せました。
- 「じわじわ効く」支援、直接ではないが「社会を変える」支援、心に響きました。
- 母語支援、母語をキャリア教育としてサポートするというテーマで、さまざまなご意見を聞くことができ、複数の視点をもつことができました。